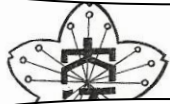


下の絵は高学年用のスライドです。家族が濃厚接触者になっただけでもこのようにたくさんの不安をかかえることになるのです。だからこそまわりの気づかいが必要なのです。ましてや、感染した患者さんやその家族、医療関係者やその家族はもっと多くの不安をかかえながら病気に向き合っています。



大空の風



1月17日
No.125

そんな方々が病気の治療に集中できるよう、まわりにいる私たちは、できるだけ不安を取り除けるようにしたいものです。患者やその家族の大変さを推し量り相手を思いやる・・・つまり、相手の立場を理解できる力（想像力）が大人も子どもも必要なのです

新型コロナウイルス感染拡大防止について

昨日の夜は、突然の安心安全メールで大変驚かれたことだと思います。私に一報が入ったのは夕方6時ごろでした。その後学校に行き、教育委員会と連絡を取りながら、学級閉鎖を決定しました。関係学年の保護者には先にお知らせし、対応会議の後全家庭にお知らせすることになり、夜分遅くに申し訳ありませんでした。

毎日たくさんの人たちが感染している状況で、今後私たちも、いつ・どこで・だれが・どのように感染するか分かりません。「命を守るルール」の徹底はもちろんのこと、熊本市保健所と教育委員会と連携をとりながら、対策をきちんととって動いていきます。大人が落ち着いて行動することが大事ですよね、家庭におかれましても、「命を守るルール（マスク着用・手洗い・換気・大声を出さない・十分な距離等）」を守り、どうぞ十分お気を付けください。

今日は朝から全クラスで、感染拡大防止と差別解消の学習をしました。感染した人やそのご家族には、何の非もありません。つらい思いをしているのは本人であり、その家族です。今、私たちが大事にしなければならない心は何でしょうか。私たちがそれぞれ持っている、思いやりの心、広い心、優しい心、温かい心、相手の立場に立てる心です。人間は不安や恐れが大きくなるとデマやうわさに振り回されます。学校からは今後も随時、正しい情報を送っていきます。個人情報に関わることは絶対外には出しません。これまでも増して感染拡大防止に最大限の配慮をしていきたいと考えています。どうぞ、これからも皆様の温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。新型コロナウイルスの感染がおさまったとき「みんなで乗り越えられたね」って笑いあえるようにしたいですね。

家族が濃厚接触者と判明。不安なことは？

家族は大丈夫かな？
陽性だったらどうしよう？
家族の心配

私は感染していないかな？
自身の感染への不安

私が誰かにうつしていたらどうしよう...
迷惑をかけたかもしれないという不安

感染しているってわかったら差別されないかな？
差別への不安

感染していたらこれからどうなるんだろう？
先々の不安

では、つい私たちがやってしまいがちな思いやりのない言動ってどんなことだろう？
具体的な例で考えてみましょう！

あなたの住んでいる校区にも感染者が発生したという報道がありました。
昨日、熊本市で××例目の感染者を確認しました。
患者は☆☆区の10歳代の男性です。
××例目の40歳代女性と親子です。

不安にさせてしまうやってはいけない行動

合言葉は「かさでこげ」

(感染) けん因の責任追及

かん染者探し

差別・偏見

デマやうわさの拡散

感染者の個人情報の流出

高学年は「思いやりのない言動」について自分事として考えました。感染者たちを不安にさせてしまう、やってはいけない行動の合言葉は「かさでこげ」感染者さがし、差別・偏見、デマやうわさの拡散、個人情報の流出、原因の責任追及
つつい、自分がやっていないか、日頃から自分に問いかけましょう

先週の様子

5年生。多角形を作図して難しい幾何学模様を完成させていました。すごいな～



クラスで長縄をがんばっています。数値目標達成も大事だけど団結力が高まれば最高だ！



3年生は体で表現する活動をしていました。創造力たくましく、のびのびと自分を表現しています。



5年生の理科。電気自動車作成。設計図を見ながら作るのが好きな人とそうでない人がいますよね。私は後者。得意な人がみんなに教えてね。



1年生の国語。昔話の絵本を図書の先生がクラスの人数以上に集めてくれました。子どもたちはどんどん読み進めていましたよ。今なかなか子どもたちは昔話を読みませんよね。いい機会です。